



コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド

HP Business Desktop dx5150モデル

製品番号 : 374172-291

2004年12月

このガイドでは、コンピュータ セットアップの使用方法について説明します。このツールは、新しいハードウェアを取り付けたときにコンピュータのデフォルト設定を再構成および変更する場合や、メンテナンスを行う場合に使用します。

© Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Companyの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド

HP Business Desktop

初版 2004年12月

製品番号：374172-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ	1
コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティの起動	2
システム情報 (System Information)	4
CMOS の標準設定 (Standard CMOS Features)	4
日付 (Date) (mm:dd:yy)	4
時刻 (Time) (hh:mm:ss)	4
PATA IDE チャンネル 0 マスタ (PATA IDE Channel 0 Master)	4
PATA IDE チャンネル 0 スレーブ (PATA IDE Channel 0 Slave)	4
SATA IDE チャンネル 1 マスタ (SATA IDE Channel 1 Master)	4
SATA IDE チャンネル 2 マスタ (SATA IDE Channel 2 Master)	4
ドライブ A (Drive A)	4
フロッピー 3 モード サポート (Floppy 3 Mode Support)	4
中止条件 (Halt On)	5
POST 遅延時間 (POST Delay)	5
BIOS の詳細設定 (Advanced BIOS Features)	5
リムーバブル デバイスのブート優先順位 (Removable Device Boot Priority)	5
ハードディスクのブート優先順位 (Hard Disk Boot Priority)	5
CD-ROM のブート優先順位 (CD-ROM Boot Priority)	5
ネットワークのブート優先順位 (Network Boot Priority)	5
MBR セキュリティ (MBR Security)	5
クイック POST (Quick Power On Self Test)	5
起動デバイス 1 (First Boot Device)	6
起動デバイス 2 (Second Boot Device)	6
起動デバイス 3 (Third Boot Device)	6
起動デバイス 4 (Fourth Boot Device)	6
ブート時の NumLock 状態 (Boot Up NumLock Status)	6
APIC 機能 (APIC Function)	6
OS の MPS バージョン制御 (MPS Version Control for OS)	6
ハードディスク ドライブの S.M.A.R.T. 機能 (HDD S.M.A.R.T. Capability)	6
BIOS の書き込み保護 (BIOS Write Protection)	6
チップセットの詳細設定 (Advanced Chipset Features)	6
内蔵ビデオ モード (Internal Video Mode)	6
AGP ビデオ フレーム バッファ サイズ (AGP Aperture Size)	6
UMA フレーム バッファ サイズ (UMA Frame Buffer Size)	6
表示装置の選択 (Video Display Devices)	6
PCI クロックの自動検出 (Auto Detect PCI Clk)	6
スペクトラム拡散 (Spread Spectrum)	6

統合周辺機器 (Integrated Peripherals)	7
South OnChip IDE デバイス (South OnChip IDE Device)	7
South OnChip PCI デバイス (South OnChip PCI Device)	7
初期ディスプレイ (Init Display First)	7
サラウンドビュー (Surroundview)	7
OnChip USB コントローラ (OnChip USB Controller)	7
フロントパネルの USB ポート (Front Panel USB Port)	7
オンボード FDC コントローラ (Onboard FDC Controller)	7
オンボードシリアルポート Onboard Serial Port	7
オンボードパラレルポート (Onboard Parallel Port)	7
パラレルポートモード (Parallel Port Mode)	7
ECP モードの使用 DMA (ECP Mode Use DMA)	7
電源管理設定 (Power Management Setup)	8
ACPI 機能 (ACPI Function)	8
ACPI サスペンドタイプ (ACPI Suspend Type)	8
AC 電源の切断後 (After AC Power Loss)	8
PCI カードでの電源投入 (PowerOn by PCI Card)	8
AMD 低温 / 低騒音 (AMD Cool'n'Quiet)	8
RTC 警告の再開 (RTC Alarm Resume)	8
月内の日付 (Date (of Month))	8
再開時刻 (Resume Time (hh:mm:ss))	8
PnP/PCI コンフィギュレーション (PnP/PCI Configuration)	8
コンフィギュレーションデータのリセット (Reset Configurations Data)	8
リソースの制御元 (Resources Controlled By)	8
IRQ リソース (IRQ Resource)	9
PCI/VGA パレットスヌープ (PCI/VGA Palette Snoop)	9
VGA への IRQ 割り当て (Assign IRQ for VGA)	9
USB への IRQ 割り当て (Assign IRQ for USB)	9
コンピュータの状態 (PC Health Status)	9
最適化されたデフォルト設定をロード (Load Optimized Defaults)	10
スーパーバイザパスワードを設定 (Set Supervisor Password)	10
ユーザパスワードを設定 (Set User Password)	10
保存してセットアップを終了 (Save & Exit Setup)	10
保存せずにセットアップを終了 (Exit Without Saving)	10
構成の復元	11
CMOSのバックアップ	11
CMOSのリセット	11

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティは、以下のような操作を行う場合に使用します。

- コンピュータの工場出荷時の設定の変更
- コンピュータ (リアルタイム クロック) の日付 (Date) と時刻 (Time) の設定
- システム構成 (プロセッサ、グラフィックス (ビデオ)、メモリ、オーディオ、記憶装置、通信ポート、入力装置など) の表示、設定の変更、または確認
- 起動可能なデバイスの起動順序 (Boot Order) の変更。起動可能なデバイスとして、ハードディスク ドライブ、ディスクレット ドライブ、オプティカル ドライブ、USBフラッシュ メディア デバイスなどがあります。
- クイックPOST (Quick Power-On Self Test) の有効/無効の設定。クイックPOSTでは、コンピュータをすばやく起動できますが、フルブートで実行される診断テストの一部が省略されます。
- 会社によって割り当てられたアセット タグ (Asset Tag) または資産ID番号の設定
- スーパーバイザ パスワード (Supervisor Password) の設定。スーパーバイザ パスワードは、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ、およびこのガイドで説明する設定にアクセスする場合に使用します。
- シリアルポート、USBポート、パラレルポート、オーディオ、内蔵NICなどの内蔵I/O機能の使用禁止/許可の設定
- マスタ ブート レコード (MBR) セキュリティ (Master Boot Record Security) の有効/無効の設定

- リムーバブル メディアからの起動 (Removable Media Boot) の有効/無効の設定
- レガシー ディスケットの書き込み (Legacy Diskette Write) の禁止/許可の設定 (ハードウェアでサポートされている場合)

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティの起動

コンピュータ セットアップは、コンピュータの電源を入れるか再起動することでのみアクセスできます。コンピュータ セットアップ ユーティリティを起動するには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。Microsoft® Windows® をお使いの場合、[スタート]→[終了オプション] (または[シャットダウン]) →[コンピュータを再起動する] (または[再起動する]) の順に選択します。
2. コンピュータが起動したらすぐに[F10]キーを押したままにし、コンピュータ セットアップを実行します。



適切なタイミングで[F10]キーを押せなかったときは、コンピュータを再起動して、もう一度[F10]キーを押したままにしてください。

3. [コンピュータ セットアップ ユーティリティ]のメイン画面はメニュー項目と操作項目に分かれています。
メニュー項目には次の8つがあります。
 - システム情報 (System Information)
 - CMOSの標準設定 (Standard CMOS Features)
 - BIOSの詳細設定 (Advanced BIOS Features)
 - チップセットの詳細設定 (Advanced Chipset Features)
 - 統合周辺機器 (Integrated Peripherals)
 - 電源管理設定 (Power Management Setup)
 - PnP/PCIコンフィギュレーション (PnP/PCI Configurations)
 - コンピュータの状態 (PC Health Status)

操作項目には次の5つがあります。

- 最適化されたデフォルト設定をロード (Load Optimized Defaults)
- スーパーバイザ パスワードを設定 (Set Supervisor Password)
- ユーザ パスワードを設定 (Set User Password)
- 保存してセットアップを終了 (Save & Exit Setup)
- 保存せずにセットアップを終了 (Exit Without Saving)

矢印キーでメニューを選択して[Enter]キーを押し、上下の矢印キーで項目を選択して[Enter]キーを押します。直前の画面に戻るには、[Esc]キーを押します。


4. 変更した設定を有効にして保存するには、**[F10]**キーを押すか、**[コンピュータ セットアップ ユーティリティ]**のメイン画面で**[保存してセットアップを終了]** (Save & Exit Setup) を選択して**[Enter]**キーを押します。

変更した設定を破棄したい場合は、**[保存せずにセットアップを終了]** (Exit Without Saving) を選択して**[Enter]**キーを押します。




注意: CMOSの損傷を防ぐため、コンピュータセットアップでの変更がROMに保存されている最中に、コンピュータの電源を切らないでください。**[F10=Setup]**画面の終了後にのみ、安全にコンピュータの電源を切ることができます。



コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ

メニュー	項目	説明
システム情報 (System Information)	次の項目を表示します	製品名 (Product Name) プロセッサ タイプ (Processor Type) キャッシュ サイズ (Cache Size) メモリ サイズ (Memory Size) システムROM (System ROM) 内蔵MAC (Integrated MAC) UUID システム シリアル番号 (System Serial #) アセット タグ (Asset Tag)
CMOSの標準設定 (Standard CMOS Features)	日付 (Date) (mm:dd:yy)	システムの日付を設定します
	時刻 (Time) (hh:mm:ss)	システムの時刻を設定します
	PATA IDEチャンネル0マスター (PATA IDE Channel 0 Master)	各項目に対して、次の設定を行います <ul style="list-style-type: none"> ハードディスク ドライブのサイズおよびヘッドの自動検出の有効 (Enable) / 無効 (Disable) の設定 IDEの設定 <ul style="list-style-type: none"> なし (None) 自動 (Auto) 手動 (Manual) アクセス モードの設定 <ul style="list-style-type: none"> CHS LBA ラージ (Large) 自動
	PATA IDEチャンネル0スレーブ (PATA IDE Channel 0 Slave)	
	SATA IDEチャンネル1マスター (SATA IDE Channel 1 Master)	
SATA IDEチャンネル2マスター (SATA IDE Channel 2 Master)		
ドライブA (Drive A)	ドライブAを無効または自動に設定します	
フロッピー 3モード サポート (Floppy 3 Mode Support)	ディスク ドライブのドライブ Aのサポートを無効にするか設定を行います	
 コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。		

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ (続き)


メニュー	項目	説明
CMOSの標準設定 (Standard CMOS Features) (続き)	中止条件 (Halt On)	次の条件を指定します <ul style="list-style-type: none"> すべてのエラー (All Errors) エラーなし (No Errors) キーボード以外すべて (All but Keyboard) ディスク以外すべて (All but Diskette) ディスク/キーボード以外すべて (All but Diskette/Keyboard)
	POST遅延時間 (POST Delay)	POSTの遅延時間を設定します
BIOSの詳細設定 (Advanced BIOS Features)	リムーバブル デバイスの起動優先順位 (Removable Device Boot Priority)	接続されたデバイス (ディスク ドライブ、LS120 ドライブ、Zip ドライブなど) に起動可能なオペレーティング システムのイメージがあるかどうかをチェックする順序を指定します
	ハードディスクの起動優先順位 (Hard Disk Boot Priority)	接続されたハードディスク ドライブ デバイス (USB ハードディスク ドライブ、USB2 メモリ、USB フラッシュ メディアなど) の起動順序を指定します。最初のドライブは起動順序が優先され、Cドライブとして認識されます (他にデバイスが接続されている場合)
	CD-ROMの起動優先順位 (CD-ROM Boot Priority)	接続されたCD-ROMドライブ (USBオプティカル ディスク ドライブを含む) に起動可能なオペレーティング システムのイメージがあるかどうかをチェックする順序を指定します
	ネットワークの起動優先順位 (Network Boot Priority)	ネットワーク デバイス (UP NIC カードを含む) に起動可能なオペレーティング システムのイメージがあるかどうかをチェックする順序を指定します
	MBRセキュリティ (MBR Security)	IDEハードディスク ブート セクタ保護のためのウィルス警告機能の有効/無効を設定します この機能が有効なときにこの領域にデータを書き込もうとすると、BIOSにより警告メッセージが表示されビープ音が鳴ります
	クイックPOST (Quick Power On Self Test)	起動時の特定のテストのスキップの有効/無効を設定します この機能を有効にすると、システムの起動時間が短縮されます
	 コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。	

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
BIOSの詳細設定 (Advanced BIOS Features) (続き)	起動デバイス1 (First Boot Device)	1、2、3、4番目に起動するデバイスを設定します
	起動デバイス2 (Second Boot Device)	 MS-DOS 以外のオペレーティング システムが起動した後は、MS-DOSのドライブ名の割り当てが適用されない場合があります
	起動デバイス3 (Third Boot Device)	
	起動デバイス4 (Fourth Boot Device)	
	起動時のNumLock状態 (Boot Up NumLock Status)	
	APIC機能 (APIC Function)	APICサポートの有効/無効を設定します
	OSのMPSバージョン制御 (MPS Version Control for OS)	OSのMPSバージョンを設定します
チップセットの 詳細設定 (Advanced Chipset Features)	ハードディスク ドライブの S.M.A.R.T.機能 (HDD S.M.A.R.T. Capability)	ハードディスク ドライブのS.M.A.R.T. 機能の有効/無効を設定します
	BIOSの書き込み保護 (BIOS Write Protection)	BIOSの書き込み保護の有効/無効を設定します
	内蔵ビデオ モード (Internal Video Mode)	内蔵ビデオ モードを無効にするか選択します
	AGPビデオ フレーム バッファ サイズ (AGP Aperture Size)	AGPビデオ フレーム バッファ サイズを設定します
	UMAフレーム バッファ サイズ (UMA Frame Buffer Size)	UMAフレーム バッファ サイズを設定します
	表示装置の選択 (Video Display Devices)	表示装置を選択します
	PCIクロックの自動検出 (Auto Detect PCI Clk)	PCIクロックの自動検出の有効/無効を設定します
スペクトラム拡散 (Spread Spectrum)	スペクトラム拡散の有効/無効を設定します	
	コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。	


コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
統合周辺機器 (Integrated Peripherals)	South OnChip IDEデバイス (South OnChip IDE Device)	IDEデバイスの有効/無効を設定します
	South OnChip PCIデバイス (South OnChip PCI Device)	次の設定を行います <ul style="list-style-type: none"> • オンボード AC97 オーディオの有効/無効を設定します • 項目の選択 <ul style="list-style-type: none"> • SATA無効 (SATA Disabled) • IDEコントローラ (非RAID) (IDE Controller (non-RAID)) • RAIDコントローラ (RAID Controller) • 有効/無効の設定 <ul style="list-style-type: none"> • オンボード LAN (Onboard LAN) • オンボード LANからのROMブート (Onboard LAN Boot ROM)
	初期ディスプレイ (Init Display First)	プライマリVGAソースを選択します
	サラウンドビュー (Surroundview)	PCI-E GFXアドオン カードがATIの場合にのみサラウンドビューの有効/無効を設定できます。
	OnChip USBコントローラ (OnChip USB Controller)	USBコントローラの有効/無効を設定します
	フロント パネルのUSBポート (Front Panel USB Port)	フロント パネルのUSBポートの有効/無効を設定します
	オンボード FDCコントローラ (Onboard FDC Controller)	オンボードのFDCコントローラの有効/無効を設定します
	オンボード シリアル ポート (Onboard Serial Port)	オンボードのシリアル ポートを無効にするか設定を選択します
	オンボード パラレル ポート (Onboard Parallel Port)	オンボードのパラレル ポートを無効にするか設定を選択します
	パラレル ポート モード (Parallel Port Mode)	パラレル ポート モードを選択します
ECPモードの使用DMA (ECP Mode Use DMA)	パラレル ポート モードがECPまたはECP+EPPの場合、ECPモードの使用DMAを1または3に設定します	


 コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ (続き)


メニュー	項目	説明
電源管理設定 (Power Management Setup)	ACPI機能 (ACPI Function)	ACPI機能の有効/無効を設定します
	ACPIサスペンド タイプ (ACPI Suspend Type)	ACPIサスペンド タイプを設定します
	AC電源の切断後 (After AC Power Loss)	動作を次から選択します <ul style="list-style-type: none"> • 直前の状態 (Last State) • オン • オフ
	PCIカードでの電源投入 (PowerOn by PCI Card)	PCIカードでの電源投入機能の有効/無効を設定します
	AMD Cool'n'Quiet	AMD Cool'n'Quiet 機能を自動または無効に設定します
	RTC警告の再開 (RTC Alarm Resume)	RTC警告の再開の有効/無効を設定します
	月内の日付 (Date (of Month))	RTC警告の再開が有効の場合に、再開する月内の日付を選択します
	再開時刻 (Resume Time (hh:mm:ss))	RTC警告の再開が有効の場合に、再開する時刻を選択します
PnP/PCIコンフィギュレーション (PnP/PCI Configuration)	コンフィギュレーション データのリセット (Reset Configurations Data)	自動再コンフィギュレーションの有効/無効を設定します デフォルトでは無効に設定されています。新しいアドオンのインストールおよびシステムの再コンフィギュレーションにより競合が発生し、OSを起動できなくなってしまう場合は、コンピュータ セットアップの終了時にESCD (Extended System Configuration Data) をリセットするためにこの設定を有効にします
	リソースの制御元 (Resources Controlled By)	リソースの制御の自動/手動を選択します BIOSは自動的に起動可能デバイスおよびプラグ アンド プレイ対応デバイスを設定できます。自動を選択すると、BIOSがIRQ DMAおよびメモリ ベース アドレスのフィールドを自動的に指定するため、ユーザはこれらを選択できません

 コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
PnP/PCI コンフィ ギュレーション (PnP/PCI Configuration) (続き)	IRQリソース (IRQ Resource)	リソースが手動で制御される場合に、割り込みを行 っているデバイスに応じて、各割り込みにタイプを割り 当てます
	• IRQ-3の割り当て (IRQ-3 assigned to)	PC ATバス規格対応デバイスにはレガシーISA (Legacy ISA)、プラグ アンド プレイ規格対応デバイスには、PCI とISAバス アーキテクチャのどちらで設計されてい るかに関わらずPCI/ISA PnPを割り当てます
	• IRQ-4の割り当て (IRQ-4 assigned to)	
	• IRQ-5の割り当て (IRQ-5 assigned to)	
	• IRQ-7の割り当て (IRQ-7 assigned to)	
	• IRQ-10の割り当て (IRQ-10 assigned to)	
	• IRQ-11の割り当て (IRQ-11 assigned to)	
	• IRQ-12の割り当て (IRQ-12 assigned to)	
	• IRQ-14の割り当て (IRQ-14 assigned to)	
	• IRQ-15の割り当て (IRQ-15 assigned to)	
	PCI/VGAパレット スヌープ (PCI/VGA Palette Snoop)	PCI/VGAパレット スヌープの有効/無効を設定します
	VGAへのIRQ割り当て (Assign IRQ for VGA)	VGAへのIRQ割り当て機能の有効/無効を設定します
	USBへのIRQ割り当て (Assign IRQ for USB)	USBへのIRQ割り当て機能の有効/無効を設定します
コンピュータの 状態 (PC Health Status)	システム情報を表示します	次の項目を一覧表示します <ul style="list-style-type: none"> • CPUの温度 (CPU Temperature) • システムの温度 (System Temperature) • CPUファンの速度 (CPU Fan Speed) • システム ファンの速度 (System Fan Speed)
 コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によ って異なる場合があります。		

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
	最適化されたデフォルト設定をロード (Load Optimized Defaults)	コンピュータ セットアップを工場出荷時の設定に戻します
	スーパーバイザ パスワードを設定 (Set Supervisor Password)	コンピュータ セットアップへのアクセスを制御するためのパスワードを設定します
	ユーザ パスワードを設定 (Set User Password)	コンピュータへのアクセスを制御するためのパスワードを設定します
	保存してセットアップを終了 (Save & Exit Setup)	現在の設定を保存してコンピュータ セットアップを終了します
	保存せずにセットアップを終了 (Exit Without Saving)	変更を保存せずにコンピュータ セットアップを終了します
	コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。	

構成の復元

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティでの設定を復元するには、復元が必要になる前に設定をバックアップしておく必要があります。

CMOS Save/Load ユーティリティのROMPaq を、<http://www.hp.com/jp> の HP Business Desktop dx5150 モデルのサポート & ドライバのページから入手できます。リムーバブル ストレージ デバイス上のフォルダにROMPaq ファイルをダウンロードしてください。コンピュータの構成を変更したら、その構成をディスクレット、USBメモリ、またはディスクレットと同等のデバイス（ディスクレット ドライブをエミュレートするよう設定された記憶装置）に保存し、将来使用できるようにディスクレットまたはデバイスを保管しておくことをお勧めします。

CMOSのバックアップ

1. バックアップ対象のコンピュータの電源が入っていることを確認して、リムーバブル ストレージ デバイスをコンピュータに接続します。
2. Windows で [スタート] → [ファイル名を指定して実行] の順に選択し、「CMD」と入力して[OK]をクリックします。DOSコマンドウィンドウが開きます。
3. 「N:¥folder¥BIOS.exe SAVE:ABC001.DAT」（Nはリムーバブル ストレージ デバイスのドライブ名）と入力して、CMOSの設定をリムーバブル ストレージ デバイスに保存します。

CMOSのリセット

1. ロード対象のコンピュータの電源が入っていることを確認して、リムーバブル ストレージ デバイスをコンピュータに接続します。
2. Windows で [スタート] → [ファイル名を指定して実行] の順に選択し、「CMD」と入力して[OK]をクリックします。DOSコマンドウィンドウが開きます。
3. 「N:¥folder¥BIOS.exe LOAD:ABC001.DAT」（Nはリムーバブル ストレージ デバイスのドライブ名）と入力して、CMOSの設定を目的のシステムにロードします。